

絆の桜よ、永久に咲き誇れ

―桜の植樹―

市道園部小学校校線の拡幅改良工事でやむを得ず伐採した市役所駐車場内の7本の桜の木。これは昭和30年春に園部小学校卒業生が記念植樹されたもので、これを惜しむ卒業生らの思いを受け、4月11日に再び苗木を植樹しました。

植樹には出席可能な当卒業生と宮町・小桜町区民が会し、佐々木市長から伐採に関して説明不足であったことを謝罪。卒業生から桜の永久の平安を市に託され、久々の再会の機会となった同級生らで和やかに植樹が行われました。



▲桜の木への思いを語り合いながら植樹



▲障がいのある方を中心とした地域の新たな交流拠点完成

笑顔が集まり社会の風吹く 新たな地域づくりの拠点に

―あじさい園改築工事しゅん工式―

八木町八木にある南丹市障害者支援施設あじさい園（明田大成施設長）の別棟改築工事が完了し、3月31日に関係者や施設利用者出席の下でしゅん工式を行いました。平屋建ての建物を木造2階建てに改築し、1階を地域活動支援センター、2階を作業場として使われます。「そよかぜ」と名付けられた地域活動支援センターは、在宅の障がい者や地域の方々気軽に集える交流サロンとして広く活用していきます。

南丹市の将来像を明らかに

―第1回南丹市都市計画 マスタープラン策定委員会―

南丹市の都市づくりの総合的な指針となる「都市計画マスタープラン」の第1回策定委員会を3月27日に園部公民館で開催。佐々木市長が学識経験者や各種団体代表者など10人の委員に委嘱状を交付しました。委員長には垣村和男氏を選出され、昨年12月に実施した市民アンケートの調査結果を基に、まちづくりの主要課題などが協議されました。おおむね20年後の都市像を展望した上で、今後10年間の計画策定を進めます。



▲市民アンケートの意見から市民主体のまちづくりを協議



▲宣誓する富沢崇志団員(右)

南丹市消防団、ここにあり

―南丹市消防団入退団式・ 辞令交付式―

南丹市消防団の平成21年度入退団式を4月1日、南丹市国際交流会館で行いました。新たに61人が加わり、団員数は1,540人。

佐々木市長から益田武彦氏に消防団長の辞令を交付。団長から副団長などへ辞令交付し、「地域住民の生命と財産を守る大きな使命を受けた消防団員であることを自覚し、いま一度気を引き締めていただきます」と訓示。新入団員を代表して日吉支団富沢崇志団員が「良心に従って忠実に消防の義務を遂行します」と宣誓されました。